

楽しく学ぼう選挙のこと

12月3日、町選挙管理委員会事務局による常磐小6年生を対象とした給食のメニューを決める選挙が行われました。選挙権年齢が引き下げられたことで小学生のうちから選挙に興味を持ってもらおうと、実際の選挙のように一人ひとり投票用紙の交付、記載台や投票箱を使つての投票を体験しました。児童たちからは「体験しながら選挙の仕組みが分かった」「開票するときに投票箱を見る人がたくさんいることがびっくりした」など、選挙の大切さを学びました。

3つの給食の候補から「豚キムチ」が当選し、今月の給食で提供されます。



安全な登下校のために

12月5日、JA多古町の飯田正一代表理事組合長が町役場を訪れ、防犯ブザー700個を町に寄付されました。飯田組合長は、「今後も町の子どもの安全のために協力したい」と、所町長は、「子どもの安全を最優先に考えなければならない。防犯ブザーを児童に配付し安全な登下校に役立てたい」と話しました。町では、全公用車に防犯パトロールの表示をするとともにドライブレコーダーの装着を進めており、町内数カ所に防犯カメラも設置しました。今後も、犯罪の抑止活動を推進し安心安全なまちづくりを目指していきます。



全力で駆け抜けた選手たち

12月1日、第18回多古町近隣小学校駅伝大会があじさい遊歩道周辺で開催されました。13校が参加した今年の大会は、男女3名ずつの混合チームで6区間を競う熱いレースが繰り広げられ、笹川小学校の優勝で幕を閉じました。町内の4校は、健闘したものの惜しくも入賞を果たせませんでした。沿道からの保護者や地域の方々の声援を受け、最後まで諦めず懸命に走り切りました。その勇姿は、応援するすべての者を魅了し、感動を覚えるものでした。

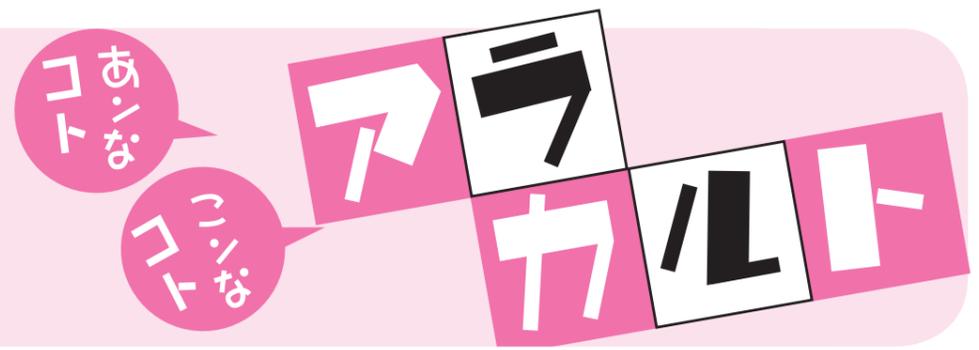


将来を考えるきっかけに

12月14日、役場議場において多古中2年生が町議会と同じ運営方法で中学生議会を体験しました。議長役で議事の進行をしたり、議員役で日常生活の中で感じた疑問について質問をしたりと、13名の生徒たちは緊張しながらも堂々としていました。また、傍聴席の生徒たちはその様子を真剣なまなざしで見つめていました。議長を務めた浅野唯人さんは「今回の中学生議会に参加して、町の将来を考えるきっかけとなりました」と話してくれました。



町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。
〒289-2292
多古町役場企画空港政策課広報係
☎76-5409



成人おめでとう！

1月13日、コミュニティプラザで成人の日記念式典が開かれました。華やかな振り袖や袴、スーツ姿に身を包んだ110名の新成人が参加し、中学校時代の友人や恩師らとともに二十歳の門出を祝いました。

今年、実行委員を務めたのは菅澤大輝さん(二本松)と鈴木達也さん(栗田)。町からの記念品贈呈では、鈴木さんが新成人の代表として目録を受け取り、菅澤さんは「小・中・高と共に競い合った仲間と新成人の誓いを共にし、このふるさとを自分たちの誇りとして心に刻んでいきたい。たくさんの方への感謝の気持ち、成人としての決意を心に刻みこれからの人生を歩んでいきます」と力強く新成人代表のあいさつをしました。



感謝と決意を述べる菅澤さん



町長から目録を受け取る鈴木さん



二十歳の言葉 (内容の一部を掲載しています)

戸村 かいと 海斗さん(十余三)



僕には今、守りたい大切な人がいます。そのためには就職して家族を養える力を持つことが今の目標です。僕は中学校を卒業するまで委員長や部長などリーダーをやったことがなく、変わるには今しかないと思い、高校で学級長をやることを決めました。それからは、信頼されると自然と期待に応えようと相応の行動をとれるようになりました。自分を変えるきっかけは些細なことです。皆さんも自分を変えたい、このままではいけないと思ったら何かに挑戦してみてください。決して独りではありません、社会の重圧に負けないように頑張っていきたいと思います。

越川 ちあき 千愛さん(方田)



これから先、どのような道に進むのか、どのような選択をしていくのか、私たち自身にも分からないことばかりです。しかし、多くの方々に支えられ、たくさんのご恩を受け、ここにいることは間違いありません。20年間さまざまなものを目にし、時に泣き、時に笑い、楽しいこともつらく悲しいことも乗り越えてここまで来ました。いろいろな経験が生きる力となり、今の私があります。たくさんの愛情を注ぎ育ててくれた家族、音楽を共に歩んできた友人、幼いころから見守り支えてくださった先生方や地域の皆さまのおかげです。ありがとうございました。

